



インターネットでの情報提供	
提供予定日	7月25日(木)

平成25年7月24日(水) 県政記者クラブ配布資料		
担当課	担当者	電話番号
恵みの森づくり推進課	佐藤 智紀 井田 琢也	内線 3028 直通 058-272-8472

「可児市我田の森」を環境保全モデル林第2号に選定

県では、昨年4月から導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」の活用による、緑豊かな「清流の国ぎふづくり」の一環として、昨年度から「環境保全モデル林整備事業」を進めています。

この事業は、既存の林業では採算が合わず放置されている里山林において、生物多様性の保全など環境への配慮と森林資源の活用による新たな里山再生手法のモデルを確立し、全県へ展開を図ることを目的としています。平成28年度までに県内5か所を選定する予定で、昨年度は、モデル林第1号として「美濃市古城山」を選定しました。

本年度は、公募による2件の候補地の中から、モデル林第2号として「可児市我田の森」を選定しましたのでお知らせします。

今後は、モデル林で里山保全活動を行う団体(プレーヤー)を募集し、森林所有者や恵みの森づくりコンソーシアム会員等と共に整備・活用計画の策定を進めます。

記

1 「可児市我田の森」の概要

- (1) 所在地 可児市久々利字大岩(花フェスタ記念公園の東隣)
- (2) 面積 約11.6ha
- (3) 森林所有者 可児市我田地区住民13名(共有)
- (4) 設置希望者 里山クラブ可児(保全活動を行うボランティアグループ)、可児市
- (5) 選定の理由
 - ・コナラ、アベマキなどの落葉広葉樹とヒノキを主体とする美濃地域の典型的な里山林。
 - ・これまで、地元の団体により継続した里山保全活動が行われてきたが、その活動をより充実させることで先導的モデルとなることが期待される。

【林内の状況】



林内の状況

拠点小屋

遊歩道

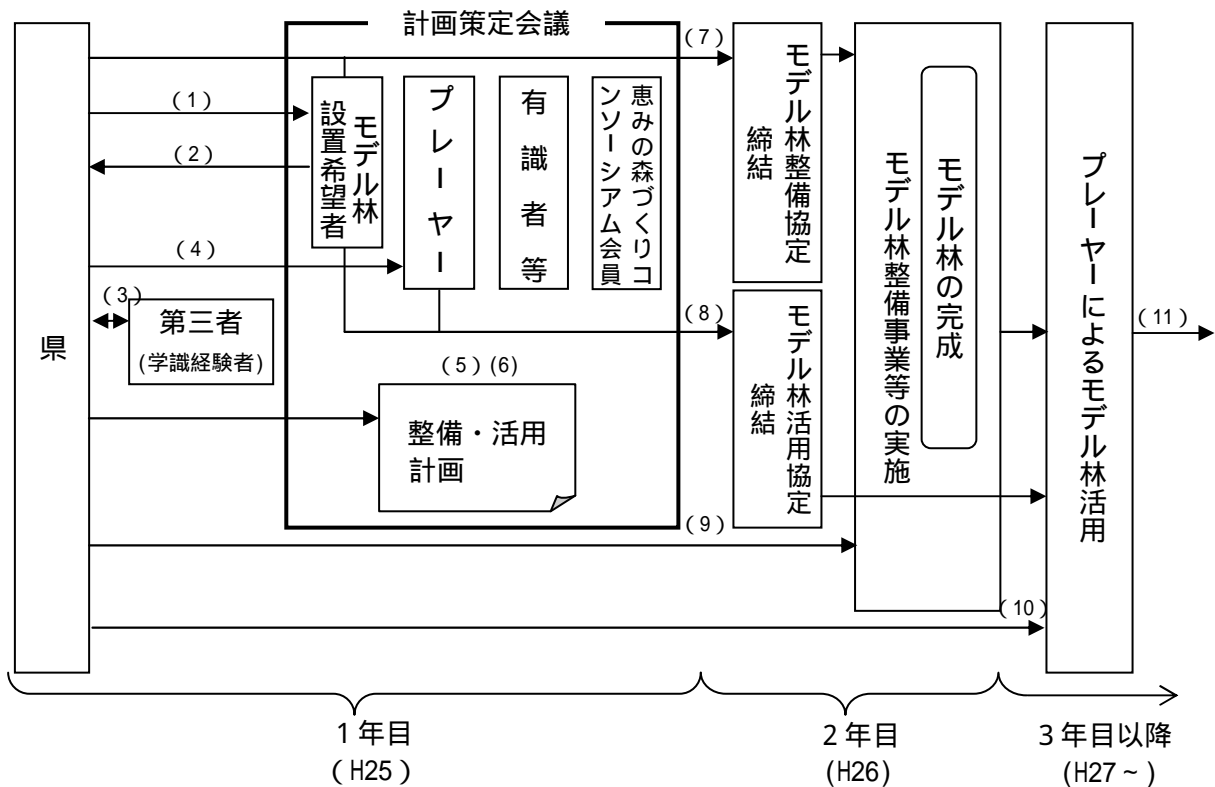
【位置図】



2 選定までの経緯と今後の予定

月 日	内 容
5月 1日～5月31日	候補地の募集
6月 3日～6月12日	書類審査、現地調査
6月21日～6月24日	学識経験者による意見聴取（書類審査、現地調査）
6月27日	県の審査会で決定 メンバー構成：林政部長、次長、関係課長の計8名 審査手法：モデル林の趣旨に合致する森林で、7項目（必要性、発展性、立地条件、効果性、収益性、プレーヤー確保、継続性）の5段階評価
7月24日	同モデル林の選定
7月下旬～8月中旬	プレーヤーを公募
8月下旬～翌年3月	関係者によりモデル林の整備・活用計画を策定

<参考：モデル林の仕組み>



- (1) 県はモデル林を公募
- (2) モデル林設置希望者から、モデル林応募申請
- (3) 県は第三者（学識経験者）の意見を踏まえてモデル林を選定
- (4) 県はモデル林での活動を希望するプレーヤーを公募
- (5) 県、モデル林設置希望者、プレーヤー、有識者、恵みの森づくりコンソーシアム会員等からなる「計画策定会議」において、モデル林の「整備・活用計画」を検討
- (6) 計画策定会議において、モデル林の「整備・活用計画」を策定
- (7) 整備・活用計画に基づき、県とモデル林設置希望者が、整備に関する協定を締結
- (8) モデル林設置希望者とプレーヤーは「モデル林活用協定」を締結
- (9) 県は、モデル林において森林の整備、作業道等の整備、施設の設置等の事業を実施
- (10) 3年目以降、プレーヤーはモデル林を経営。当初の1年間は、県が進捗管理や関係者間調整等のサポートを実施
- (11) 4年目以降は、プレーヤーによる自立的な活用を目指す